

# 新刊本

図書館だよりでは掲載出来なかった  
新刊本や話題の作品も揃えています！！



## 「ふたり、この夜と息をして」

著・北原 一

男子高校生のまことは、顔にある痣<sup>あざ</sup>を化粧で隠して生活している。それがばれることを恐れ、人とかかわらず静かに過ごすことを望んでいた。ある日、公園でクラスメイトの榎野を目撃する。互いに“秘密”を抱えた二人は徐々に距離を縮めていくのだが、表紙ジャケットは俳優の神木隆之介さんが担当！

## 「自宅学習の強化書」

著・葉一

さまざまなツールも使って自宅学習で成果を出す力が身につけば、お金をかけなくても成績は伸ばすことができる。勉強なら、特別な才能がなくたって成績を上げられる！努力が報われる勉強法と習慣が手に入る。定期テスト・計画の立て方から受験まで完全サポート！本書では、自宅学習のメリット、習慣化の方法、自分に合った勉強法など、中学生をメインターゲットとして伝えています。

## 「スイッチ 悪意の実験」著・潮谷 駿

夏休み、お金がなくて暇を持て余している大学生達にアルバイトが持ちかけられた。スポンサーは売れっ子心理コンサルタント。彼は「純粋な悪」を研究課題にしており、アルバイトは実験の協力だという。大学生達のスマホには、自分達とはなんの関わりもなく幸せに暮らしている家族を破滅させるスイッチのアプリがインストールされる。スイッチ押しても押さなくても1ヵ月後に100万円が手に入り、押すメリットはない。「誰も押すわけがない」皆がそう思っていたが・・・



## 「それをAIと呼ぶのは無理がある」

著・支倉凍砂

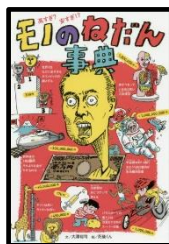
生まれたときからAIに囲まれて育ってきた「私」たち。完璧な相棒を端末にダウンロードできたら、友達なんていらない！？でも現実の恋や夢は万能AIにも計算不能らしい。



## 「リアルでゆかいなごみ事典」

著・滝沢秀一

ごみ清掃芸人による、笑いあり、哀愁あり、ドラマありの、ごみ事典！ごみから見えてくる生活や人間模様を面白おかしく語りながら、396個のごみにまつわる豆知識や分別方法をまとめた、毎日使える1冊



## 「高すぎ？安すぎ！？モノのねだん事典」

身の回りにあるさまざまな「モノ」の値段にまつわる面白知識を、気軽に楽しめる雑学読み物。「宇宙服は10億円、そのうち9億円は生命維持装置」、「動物園のライオンとキリン、どっちが高価？」など、知れば思わず誰かに話したくなる、とっておきの雑学が満載！



保護者の皆様にも貸し出しを行っております。

三者懇談中にぜひお立ち寄り下さい！